

高庵寺通信

新任職誕生

高庵寺二十六世 泰紀大和尚

去る5月31日、東京芝の曹洞宗宗務庁において、前任職長谷川頭三老師の長男、長谷川泰紀老師が、正式に高庵寺二十六世としての辞令を交付された。

住職に就任して

ご挨拶とお願い

先頃、高庵寺住職として晋山いたしました。なにぶん若輩もですので、壇信徒の皆様のご

協力を切にお願いいたします。

さて、高庵寺は整備が十分でなく、壇信徒の皆様にも不自由をおかけしておりますが、緊急の課題としては、本堂の整備であると思われま。

ご存知のように、本堂の屋根を昨年度応急措置で修理いたしました。あくまで応急措置であり、根本的な対策が必要です。

また、周囲の壁、窓等の補修も早急にやらねばなりません。皆様のご協力を切にお願いいたします。

それから、別件になりますが、寺の経営上の問題から、私、や

むを得ず栃木県立足利工業高

等学校校定時制の教師を兼務しております。そのため、葬儀や法事等で、時間的な制約から皆様のご希望に添えかねることも多々ありますがご容赦ください。

また、以上の理由で、葬儀等の場合最初にお寺の都合を確かめたうえで、告別式等の日程を組まれるようお願いいたします。

したがって、東京などの遠方の檀家様には申し訳ございませんが、告別式等に参ることはできませんので、あらかじめご相談ください。

法事の持ち方

なにかを準備したらよいか

一 まずお寺と相談して、期日、時間等を決定いたします。

二 当日準備するものは、花一對、本堂にお供えするものです。大きさは花屋さんに相談しましょう。法事開始の遅くとも三十分前には届けておきます。

お菓子と果物、いずれもあまり大きくないものです。グレープフルーツならば5個くらいが限度です。それから、お団子を用意する習慣があるようです。これは地方の慣習です。なので、とらわれる必要はありません。その他、お墓参りの花等を用意します。

三 お布施は、信士信女号で二万円、居士大姉号で三万円、院号は五万円以上が普通です。もし、お二方の供養をされるときは、お二人分と一緒に包みます。位牌の開眼をされる時は、あらかじめ連絡しておきましょう。時間もかかるので、急にお願いされても困ります。お布施は、一万円以上が普通です。墓石の開眼などは、一万円以上でなかった費用の一分をめぐにいたします。